質の高い管理士の養成を

浄化槽維持管理技術研修会

県環境整備事業協組

県環境整備事業協同組合（鳥越澄夫理事長）は5日、鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで「15年度浄化槽維持管理技術研修会」を開き、今後の浄化槽維持管理の在り方とその手法について理解を深めた。

今年で12回目を迎える研修会には、関係者約200人が出席。開催にあたって、鳥越理事長は「これまで研修会で得た知識・技術は、浄化槽維持管理のレベルアップにつながっていると考える。今後は、多種にわたる浄化槽を、正確かつ柔軟に取り扱うことができる質の高い浄化槽管理士の養成に努めていきたい」と挨拶した。

引き続き行われた講演では、日本環境整備教育センター調査研究部の小川浩氏が「高性能型浄化槽の維持管理」について解説。その開発経緯をふまえ、「小型合併処理浄化槽の構造基準化から、その処理性能は高度化している。現在、生物ろ過方式や担体流動方式などにみられる性能評価型への移行が進められており、今後も処理効率はますます向上していくであろう」とした。

また会では、浄化槽製造メーカーとの意見交換会も実施。目覚ましい技術革新により近年、多様なニーズに対応した浄化槽製品が開発されている。出席者らは今後、適正な維持管理体制を身につけるため、終始真剣に耳を傾けていた。

維持管理の動向について学んだ研修会
＝鹿児島市のホテルウェルビューかごしまで

公共工事の発注

県外業者受注 全体の約6・3%

県議会・代表質問

16年第1回定例会代表質問が4日開かれ、主要地方道川内串木野線や公共事業の見直しなどについての質問が出された。県当局は、厳しい財政環境ではあるが、主要地方道川内串木野線については着実に整備を進めているとし、公共事業の見直しについても県勢発展に向けた戦略的な事業や災害に強い県土づくりに資する事業、県民にもっとも身近な道路

県内の事業を重点的に

数ルートの比較検討を行っていると答えた。

また、公共事業の見直しについて、マリン

このうち、串木野市荒川地区の1・5キロの区間については、地形が険しく工法上検討すべき点があり、コスト縮減を図るためにも複

ら重要な事業なので早く完成させたいとし、公共事業については新幹線の負担金を除いて地方財政計画の投資的経費の補助の伸び率と

同率の事業費を確保。県単公共事業は本県の厳しい財政環境を勘案して対前年度比80%を

た6年度からの10年間における公共事業費のピークは、13年度の約1993億円で、16年

とも国の動向や県内経済の動向にも配慮しながら、財政プログラムに基づいて適切に対応していきたいと述べた。

当初予算ベースでみ

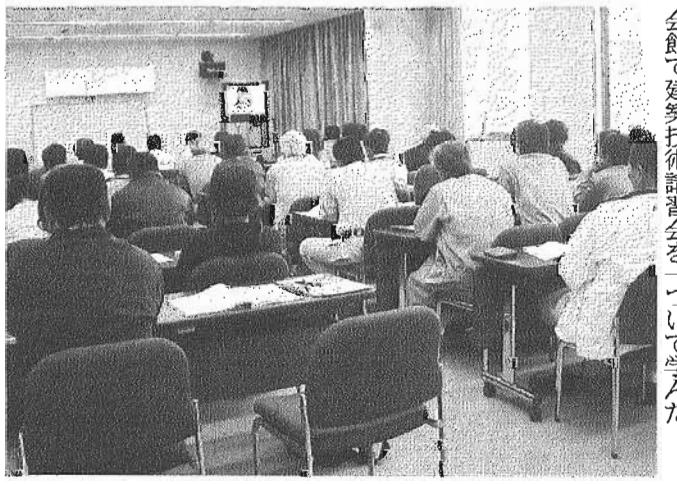
公共事業費のピークは、8年度と9年度の約629億円で、16年度はその約54%。15年度の公共3部の公共工事における県外業者の受注状況は特定共同企業体の代表者としての実績分も含め、15年12月末現在で約82億円で全体の約6・3%と説明。今後とも公共工事の発注に当たっては、可能な限り県内企業の受注の機会が確保されるようにしたいと答弁した。

シックハウス対策学ぶ

建築技術講習会

県建築士会大島支部

県建築士会大島支部（栄博昭支部長）は2日、大島郡徳之島町の町文化会館で建築技術講習会を開き、会員らはシックハウス対策を中心にハートビル法、省エネ法などについて学んだ。


会員ら56人が参加した講習会
＝徳之島町の町文化会館で

地材地建の展望解説

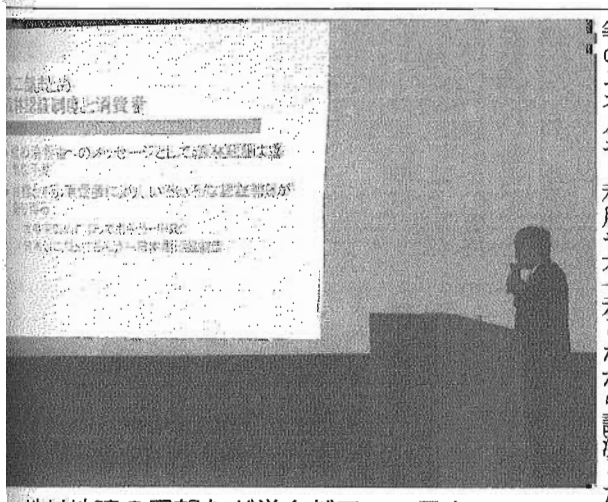
かごしまウッディテック・フォーラム

かごしまウッディテック・フォーラム（KWF）は5日、鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で講演会を開き、木材関係者らが参加して、地材地建の展望などについて学

講演会では、独立行政法人森林総合研究所の藤原敬理事が「循環社会の主役としての木材の条件－地材地建に期待する」と題して講演。大量消費社会から循環社会に社会システムを転換することが21世紀の課題であり、木材は循環社会を担う鍵を握っている。木材が循環社会の主役になるには持続可能な森林経営が明確になる必要があること、行政や林業木材業界、消費者が連携し、取り組んでいくことが大切である、などと解説。

また、岩手県住田町企画財政課の佐藤英司課長補佐は「森林エネルギーのまち実現に向けて」と

の状況や林業循環型システムの構築、同町有林を中心とした森林認証の取り組みのほか、林地残材等のエネルギー利用や木質バイオマスの導入など、森林・林業の新たな課題・取り組みについて、具体的な林業の振興施策を示しながら講演した。


地材地建の展望など学んだフォーラム
＝鹿児島市の県歴史資料センター黎明館で

バリアフリーに配慮

照国通り歩道が完成

九州地方整備局鹿児島国道事務所が整備を進めてきた国道225号照国通りの歩道完成式典が5日、鹿児島市の現地で行われた。

同整備は、鹿児島国道事務所が掲げる〝人にやさしい道づくり〟の一環として実施。利用者が安心して通行できるように、普段気づかない段差や勾配についてバリアフリーを施すなど細部に至るまで配慮されている。

整備にあたっては、事前に身体障害者や地域住民らを交えて度重なる検討会を実施。実際に、視覚障害者や肢体不自由者らと一緒に歩道を歩き、その傾きや段差についての体験調査なども行ってきた。主に改善されたものとして、縁石の段差解消や歩道の平坦化などに

完成を祝いテープカットする関係者
＝鹿児島市の照国通りで

みられるバリアフリー化、横断歩道における点字ブロックの設置などがある。

奥村康博同事務所長は「人通りが多く、とてもにぎわいある通り。数多くの皆様からいただいた声や意見を、現場に反映することができたのはとても意義あること」とし、今後も積極的な道路整備に努めていくと語った。

式典の後、関係者らは生まれ変わった歩道を実体験、ゆとりある空間とその歩きやすさに終始笑顔が絶えなかった。

整備事業についての概要説明とビデオ鑑賞を行った。

参加者らは最近問題となっている環境問題やバリアフリー関連の講義とあって真剣に聴き入っていた。

建設業許可申請
変更届・資格審査申請・官公庁許認可・登録申請手続き致します
許認可コンサルタント
安田行政法務事務所
鹿児島市中央町5－41 トーカンマンション白鷺602号 TEL 252-8084 FAX 252-1144

24時間 迅速な作業と適正価格でまごころサービス
エレベータ・エスカレーター 立体駐車場全般 保守点検専門
マーキュリーアシェンソーレ(株)
本社 鹿児島市下荒田1-20-6 TEL(099)257-9113 FAX(099)251-9418
支社 鹿児島・福岡・東京